

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本市の近代産業発展の歴史街歩きを多世代で楽しむ事業
事業主体 (連絡先)	第三地区まちづくり協議会 事務局：松本市第三地区地域づくりセンター
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの進行に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	745,700円 (うち支援金： 500,000円)

#### 事業内容

平成29年に開店した「イオンモール松本」内に地区の要望として復元整備をしてもらった蚕業遺構と歴史碑文を活用し、忘れられた松本の産業発展の歴史と第三地区の成り立ちを、地域の子供達や市民の皆さんへ伝えるため、中学生を対象とした歴史まち歩きや、一般市民を対象とした歴史講話を開催。

また、子どもでも読みやすい歴史冊子や、現在と昔を対比できる地図を作成し、周辺の8学校へ配布したり、地図は近隣商業施設にも設置し、広く一般市民の皆さんへ第三地区の見どころを伝え、周辺の街なかへ誘導することで、地区の活性化に繋げる。



【街角で説明を受ける中学生】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 子ども達を対象にした歴史まち歩きは、手作りの簡単な歴史パンフレットで行っていたものの、漫画による歴史読本ができたことによって、子ども達にも分かり易い資料となり、中学校からは、毎年継続の事業としてもらいたい依頼があった。
- ② イオンモール松本内に、歴史講話のポスターを展示してもらったり、地区の地図を設置することで、広く一般市民への周知が図れた。
- ③ 従来の観光コースは、松本城周辺や中町辺りまでのまち歩きが主であったが、地図により近代歴史巡りを加えた事により、周辺の小規模商店への集客に貢献した。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子ども達を対象にした歴史まち歩きは、今回作製した歴史読本を用いて、今後も継続事業として進めてまいりたい。

また、冊子や地図を松本市教育委員会に届け、松本市の地域歴史教材として、広く活用していただくように提案する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

#### 【目標・ねらい】

- ① 子ども達へ松本の産業遺産の歴史を伝える
- ② 一般市民への松本の産業遺産の認知度向上
- ③ 観光客へ、新しい視線での松本のまち歩きを提案

※自己評価 【 B 】

【理由】  
 まち歩きに参加した中学生からは謝意の感想が届いたものの、歴史講話等による一般市民からの反応や、その経済効果は具体的な検証ができていない。